

Sound and Rize

今、千歳では未来を担う若き才能たちが、それぞれのステージで輝きを放っています。バレエ、ピアノ、リコーダー、そして民謡。ジャンルを超えて、ひたむきに芸術と向き合うキッズアーティストを紹介します。

響き 舞い上がる

バレエ

翼心花
TATSUMI KOHANA

petit ballet 千歳教室

快挙

3月1日に行われた「hitaruバレエプロジェクト くるみ割り人形」で、主演「クララ」を演じました！

何事にも感謝の気持ちをして、プロのバレリーナへ

- 2023年 Vコン札幌 中学生の部 A 1位
- 2024年 PIBC 北海道 中学生の部 2位
John Cranko Schule サマースクール参加
- 2025年 GRAND PLUME Ballet competition 中学2年生の部 2位
PIBC summer ジュニアIII PIBC賞
JBC 北海道 C05 1位
NBA コンクール 中学3年 1位
JAPAN GRAND PRIX ジュニアB 入賞
ほか受賞歴多数



心花さんに聞く **Question 10**

Q ニックネーム	A こはな	Q 趣味・特技	A 絵をかくこと
Q 好きな科目	A 音楽	Q 好きな言葉	A 十人十色
Q 好きな食べ物	A たまご焼き	Q オフの過ごし方	A ごはん、おかし作り
Q 今一番行きたいところ	A ドイツ	Q 今一番食べたいもの	A ラーメン
Q 発表会前のルーティン	A イメージトレーニング	Q 自分の性格を一言で	A ポジティブ、元気



クララ役に選ばれたときの心境はいかがでしたか。実は、クララにしては身長が高い方なので、選ばれた時はすごく驚きました。でも本当に素晴らしい役をいただいたので、「誰にもできない、私にしかできないクララ」を精一杯演じようと思いました。

本番までの歩み、学業との両立について教えてください。6月にオーディションがあり、8月に決定。9月からは札幌のスタジオで本格的なレッスンが始まりました。家に帰るのが遅くなる日も多く、学校との両立が大変な時もありました。そのため、勉強を持ち帰らないよう授業中に全て理解できるようにしたり、朝早く起きて勉強時間を確保したり、今回に限ったことではありませんが、とにかくバレエに打ち込める準備をして臨みました。

実際に踊ってみてどうでしたか。あれほどの大舞台は初めてだったので、最初はすごく緊張しましたが、いざ始めると本当に楽しくて…。あっとい間の時間でした。終わってしまった時はさみしさを感じるほど、充実したステージでした。

プロダンサーとの共演で、一番の学びは何でしたか。「基礎が一番大事だよ」とアドバイスをいただいたことです。第一線で活躍されている方々こそ、基礎を大事にしている。その姿を見て、私もあらためて小さい部分から頑張っていこうと思いました。

私にしかできないクララを

心花さんにとって、バレエの魅力とは。踊っているときは嫌なことも全て忘れられます。自分らしく、自由にいられる場所。それが一番の魅力だと思っています。

ご家族や先生のサポートについてお聞かせください。家族や先生、友達などいつも応援してくれる周囲の方々には、本当に感謝があります。先生がたくさんのことを教えてくださるからこそ、今の私があります。また、家族は私のダメなところはつきり指摘してくれるので、すごくありがたい存在です。

今後の目標、そしてその先にある夢をお聞かせください。まずは学生のうちに海外留学して、もっと技術を磨きたいです。将来の夢はプロのバレリーナになること。千歳から世界へ羽ばたけるよう、一歩ずつ進んでいきたいです。

プロのバレエダンサーが見た 翼心花の“可能性”



心花さんは身体がとても柔らかく、足のラインもきれいです。本当に素敵なダンサーなので、これからの活躍が楽しみです。

速水涉悟さん
HAYAMI SHOGO

新国立劇場バレエ団プリンスバル

5月24日(日)に北ガス文化ホールで行われる「プチバレエ第5回発表会」にゲストダンサーとして参加。



北斗中音楽部に聞く **Question 10**

- Q コンテスト前のルーティン
- A みんなの顔を見る(楓)
- Q 川井先生はどんな人?
- A ユーモアあふれる先生!(颯太)
- Q 好きな言葉
- A 才能は開花させるもの
センスは磨くもの(あかり)
- Q 行ってみたい場所
- A 沖縄県(蒼依)
- Q 特技
- A ルービックキューブ(絆愛)
- Q 休日の過ごし方
- A 昼まで寝てからリコーダーの練習(凛香)
- Q 今一番欲しいもの
- A パソコン(結香)
- Q 好きな食べ物
- A ピザ屋のポテト(希史)
- Q 中学校生活の思い出
- A 東京での全国大会(明花里)
- Q 部員みんなに一言
- A いつもたくさん声をかけてくれてありがとう! 全国金賞とるぞ~!!(映月)



北斗中音楽部を6年連続の全国大会出場に導いた、顧問の川井先生。「ときに優しく、ときに厳しく、部員全員の意見を取り入れてくれる」と、部員たちから厚い信頼を寄せられる。



もう一回見たい、聞きたい
そんな演奏を届けます

全道リコーダーコンテスト
金賞・グランプリ!
全日本リコーダーコンテスト
6年連続出場



全国へも金賞を取る自信のほどは、ありません! それから、花村賞(最優秀団体賞)も狙います。
演奏を聴いてくれるお客さんに、届けたい思いがあります。
もう一回見たい、また聴きたいと思ってもらえる音色をお届けしたいです。それから、聴いてくれる皆さんと演奏している私たちが一体となって楽しめる演奏を、これからも続けていきたいです。
音楽部でよかったなと思うことは、一緒に同じ目標に向かいながら、仲良い友達と練習できることがすごく楽しいです。みんなで一生懸命練習して、結果が出た時は楽しい、うれしくなります。
全国への意気込みをどうぞ。
(前部長・金森愛那さん) 年数を重ねていくにつれ、みんなと意見を共有しやすくなったたりして、私が1年生だった頃よりも楽しく演奏できていますし、技術も上がっていると感じます。このメンバーで演奏できる最後の機会なので、最後まで楽しく演奏をしたいです。

—ご自身の演奏の特徴を紹介してください。
技術よりも、表現力に自信があります。僕は右利きなので、左手がこれからの伸びしろです。右手と左手のバランスを向上させて、より良い演奏ができるようになります。
—練習での印象的なエピソードはありますか。
去年の年末、3月の苫小牧でのコンサートに向け、佐藤和華先生から大人でも弾くのが難しい曲を課題で出されました。本番までの2か月間がとてもハードだったので、印象に残っています。本番1週間前はひどすぎて怒られるくらいでしたが、緊急でレッスンを追加してもらい無事に演奏できました。
—先生からの言葉で大事にしているものは。
先生からは去年、「本気を出しなさい」と言われました。コンクール直前のレッスンでうまく弾けず、「今のままでは本気を出していない」と。もっとできるはずだと思って言ってくれたと思います。厳しいけど、とても優しい先生です。
—自分の演奏を通して、どんなことを伝えたいですか。
コンクールには毎回、「今までで一番の演奏をしたい」という気持ちで臨んでいます。ステージで自分なりに表現したことを審査員の方々に汲み取ってもらえたときは、うれしい気持ちになります。色々な楽器の音を表現したいと思いながら弾いて、実際に「色々な楽器の音が聞こえてきました」と講評してくれたときは本当にうれしかったです。
—今後の目標を聞かせてください。
まず今年のピティナ・ピアノコンペティションで全国大会に出ること。そして将来は、日本だけでなく世界中でコンサートを開き、人に感動を与えられるピアニストになりたいです。

METOKI SHIN **目時 慎**

勇舞中学校 1年

人に感動を与えられる
ピアニストになりたい

ピアノ

ピティナ・ピアノコンペティションC級
全国大会 入選! (地区本選第2位)
ブルグミュラーコンクール
小学5・6年B部門
道央胆振ファイナル 金賞!
ほか受賞歴多数



慎さんに聞く **Question 5**

- Q 好きな音楽家
- A ショパン
- Q 今一番食べたいもの
- A お母さんが作るパスタ!
- Q お気に入りスポット
- A 五稜郭(函館)
- Q ピアノ以外の特技
- A スケート
- Q 挑戦したいこと
- A 1日10分のランニング



「私たちが仕事から帰る前も、土日も欠かさず何年も練習を続けているから、応援して支えたい」とは、慎さんのお母さんの言葉。親子の絆を示す一言。

KONDO KAHO **近藤 佳星**

北斗中学校 3年
江差追分北優会

民謡

歌の情景に合った「味」
それを追い求めていきます

江差追分少年全国大会 優勝!
小野花子杯全国民謡コンクール
ジュニアの部 優勝!
ほか受賞歴多数
吉田良一郎さん(津軽三味線 吉田兄弟)
プロデュースのユニット「みんようユリism」の
メンバーとしてCDデビュー!

佳星さんに聞く **Question 5**

- Q 得意科目
- A 理科、美術
- Q 好きな言葉
- A 自分は自分
- Q 特技
- A 鳥と仲良くなれる
- Q 行ってみたい場所
- A リメンバー・ミーの世界
- Q 自分の性格を一言で
- A 強烈な天然



昨年、CDデビューを果たしました。吉田良一郎さんは憧れの人でしたし、とてもうれしく思いました。選んだ曲「石狩川流れ節」は、鮭のことを歌った曲です。「千歳といえはサケ」と地元への思いを込めました。出来栄はいかがですか。
今までは三味線や尺八など「和」の楽器に触れてきましたが、CDは洋楽風にアレンジされていて、すごく格好いいと思いました。
—ご自身の歌の強みを教えてください。
私の歌は透き通るような綺麗な発声ではなく、ちよつと「泥臭い」ような声質ですが、それがあって「歌の情景に合った味がある」と評してもらえることが多いです。民謡に表れている情景を意識しながら、それに合う声を出して歌えるのが強みです。
—良い歌を届けるために、特に意識していることはありますか。
民謡を歌うときには、まずその場所に行きその情景を見て、歌に表現するにはどうするかを考えます。江差追分なら「江差の海の流れのように歌う」ために、何回も江差町に行って海を見たり、石狩川流れ節を歌うときは「これが石狩川なんだ」って目に焼き付けたり。ただ景色を見るだけでなく、その土地の人たちに会って話して、訛りや会話の癖をよく聞いて学ぶことを意識しています。
—やってみたい活動はありますか。
2歳の妹がいるのですが、妹のような小さな子どもたちに民謡をもっと広めたいです。もし機会があれば、幼稚園や保育園を回り、民謡を歌って聞かせるような活動もできたらと思っています。



北斗中学校 **音楽部**

リコーダー
アンサンブル